

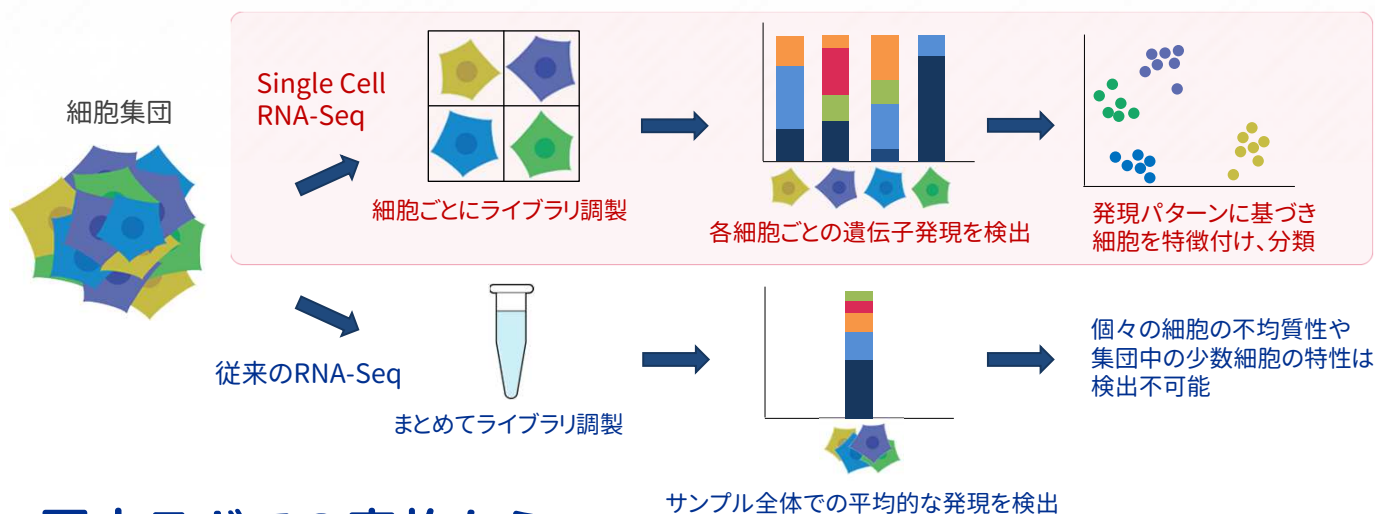
10x GENOMICS® シングルセル受託解析 Single Cell RNA-Seq 大好評受付中

国内ラボ初
10x scRNA受託

- CITE-Seq
- 死細胞除去
対応します!

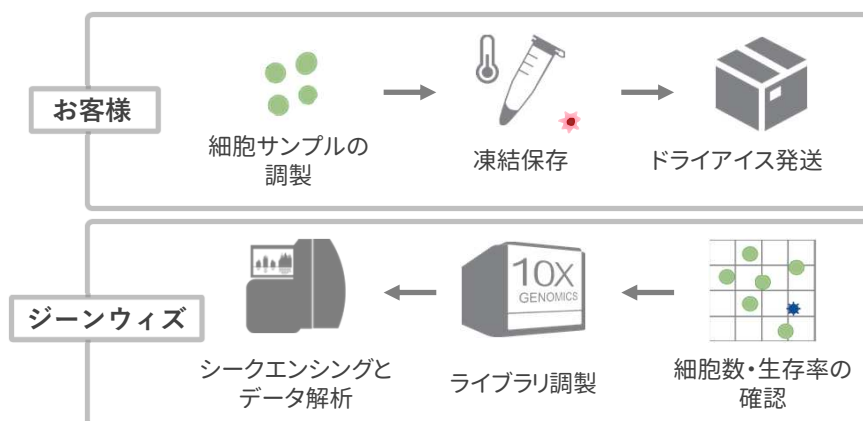
Single Cell RNA-Seqなら見えないものが見えてくる!

10x Genomics Chromiumなら最大10,000細胞/ウェルのハイスループットな解析が可能



国内ラボでの実施なら...

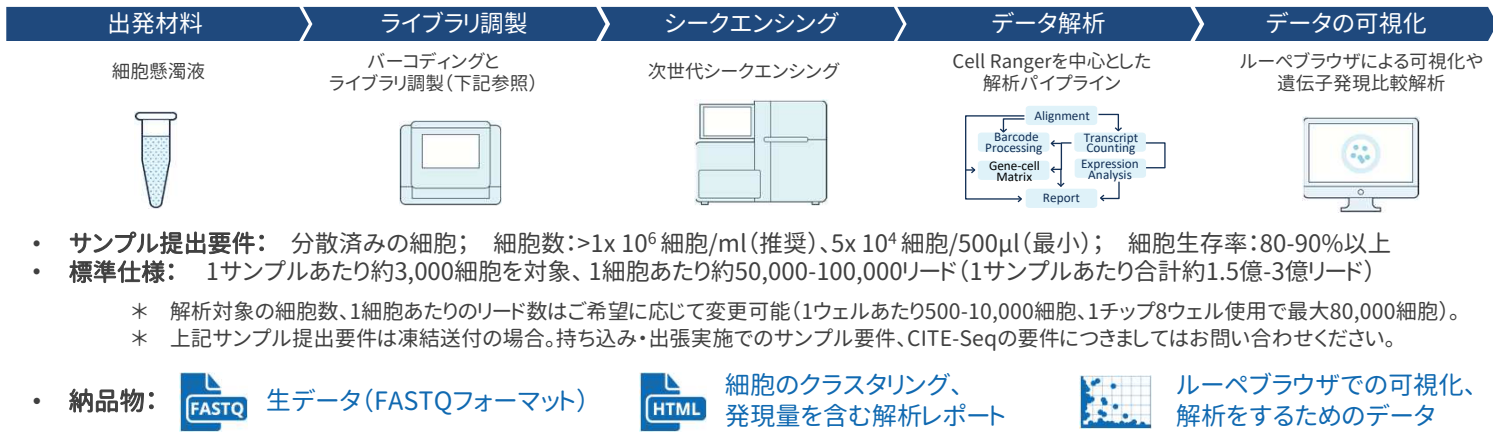
- 不安定な細胞サンプルでも安心、海外長時間輸送時のリスクも低減
- サンプル再提出の場合でも時間と輸送費をセーブ
- 選べる3つのご利用スタイル
 - 凍結での送付
 - 凍結せず、生細胞のまま弊社ラボに持ち込み
 - 弊社スタッフが機器試薬と出張、お客様のラボにて実施



持ち込み・出張実施の利点

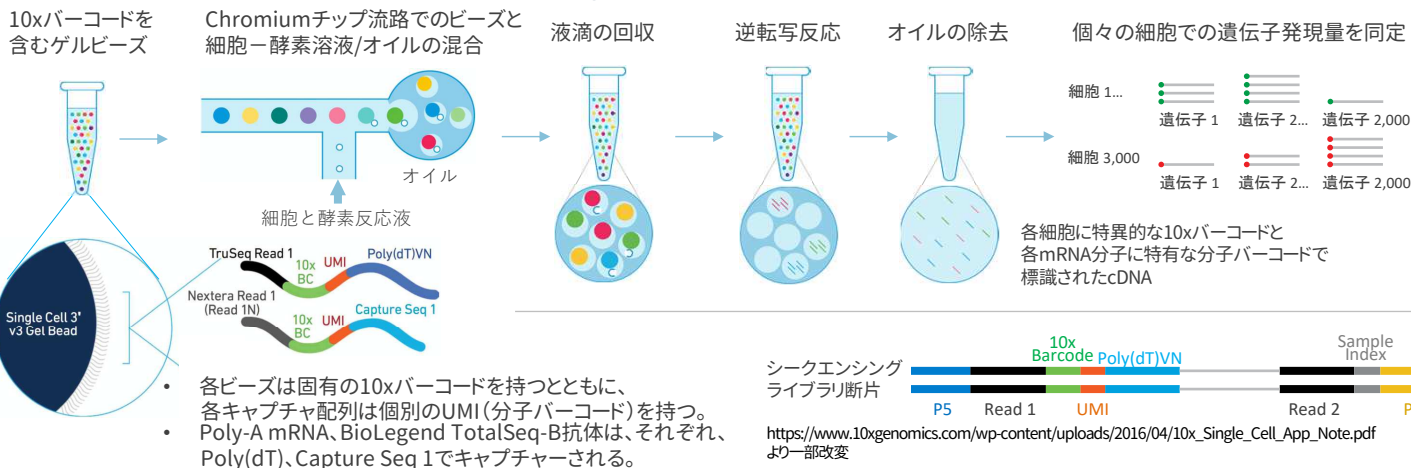
- 凍結融解による生存率の低下がない
- 細胞状態への影響が少ない
- より少ない細胞数にも対応可能
- お客様と直接ご連絡できるため作業がスムーズ
- 高い成功率

解析の流れ、仕様および納品物

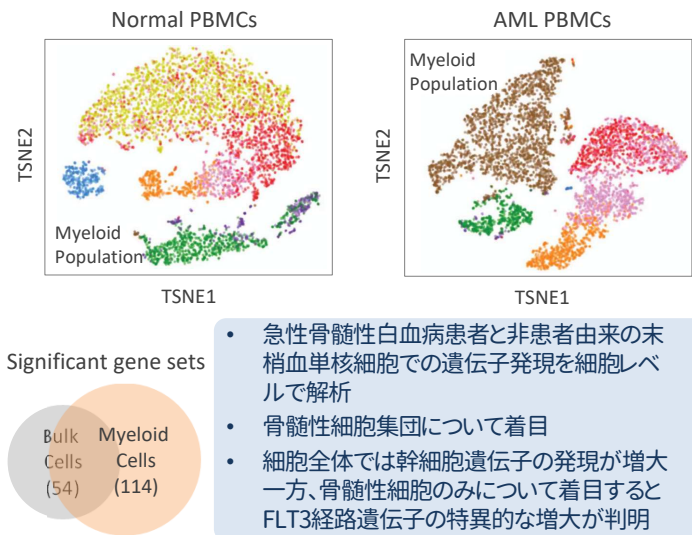


- サンプル提出要件:** 分散済みの細胞; 細胞数:>1x 10⁶ 細胞/ml (推奨)、5x 10⁴ 細胞/500μl (最小); 細胞生存率:80-90%以上
- 標準仕様:** 1サンプルあたり約3,000細胞を対象、1細胞あたり約50,000-100,000リード (1サンプルあたり合計約1.5億-3億リード)
 - * 解析対象の細胞数、1細胞あたりのリード数はご希望に応じて変更可能 (1ウェルあたり500-10,000細胞、1チップ8ウェル使用で最大80,000細胞)。
 - * 上記サンプル提出要件は凍結送付の場合。持ち込み・出張実施でのサンプル要件、CITE-Seqの要件につきましてはお問い合わせください。

ChromiumによるSingle Cell RNA-Seqライブラリ調製の概要



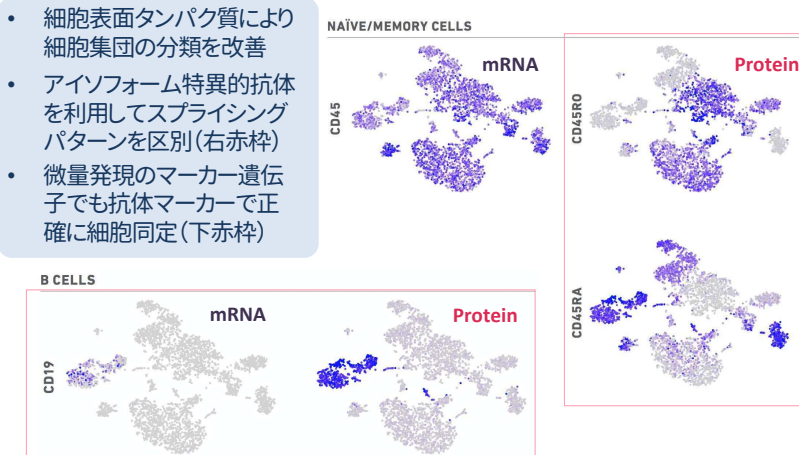
利用例1: がん研究への応用



https://www.10xgenomics.com/wp-content/uploads/2016/04/10x_Single_Cell_App_Note.pdf

利用例2: 抗体による細胞種同定と遺伝子発現解析

BioLegend社より提供のオリゴDNA標識抗体TotalSeqを用いた細胞表面タンパク質の同定と同一細胞での遺伝子発現を同時に解析 (CITE-Seq)



10x Genomics, AD034_Single_Cell_Feature_Barcoding_Rev_A.pdfより抜粋、改変

Feature Barcoding/CITE-Seq - 細胞表面タンパク質と遺伝子発現の同時解析好評受付中

- オリゴDNA結合抗体により、10xシングルセル解析フローを用いた細胞種の同定と同一細胞での遺伝子発現解析を実施。
- 細胞膜表面に発現するタンパク質マーカーの同定により、遺伝子発現に基づいた細胞の分類を改善、複数種類の抗体が利用可能。
- BioLegendのTotalSeq-AあるいはTotalSeq-Bに対応 (<https://www.biolegend.com/totalseq>)。詳細はお問い合わせください。

©2021 GENEWIZ Inc. 本サービスは研究用のみに使用できます。診断目的に使用することはできません。当印刷物に記載されている会社名および商品名などは、各社の商標または登録商標です。本印刷物記載の内容は2021年5月現在のものです。

日本ジーンウィズ株式会社

〒142-0043 東京都品川区二葉二丁目9番15号
NFパークビルディング 4階
TEL. 03-6628-2950 FAX. 03-6628-2951
E-mail. NGS.Japan@geneviz.com

代理店・取扱店記入欄